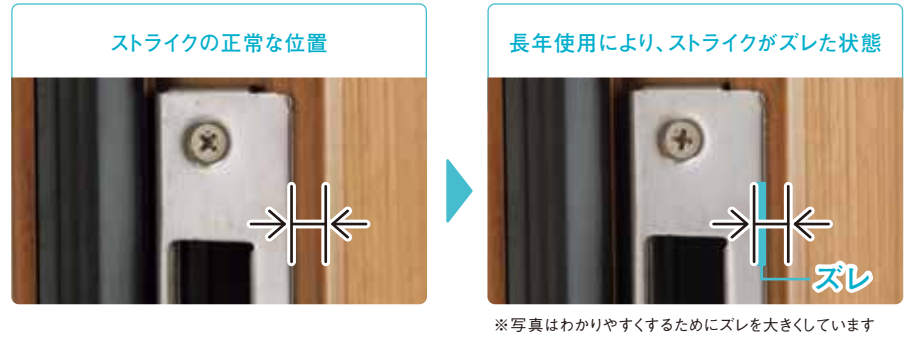


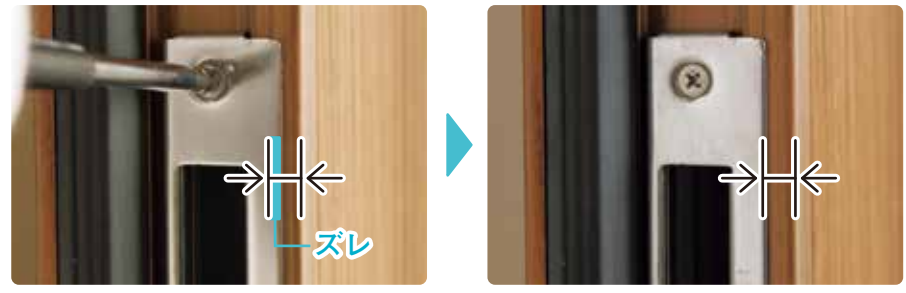
調整 ストライクの調整 【用意するもの】 プラスドライバー・手袋

原因
鍵錠が掛らなくなる原因は、外出時、ドアの施錠をした後、確認するために閉じたドアを前後に「ガチャガチャ」するお馴染みの行為により、ストライクの位置が少しづつズレ、鍵錠が掛らなくなります。



調整方法
ストライクの位置を直します。

- 上下のネジを少しづつつゆめ、位置を調整。適切な位置でネジを固定します。
- サムターンをまわし、鍵錠が掛るかを確認。掛りがスムーズでない場合は、再度ストライクの位置を調整します。



お手入れ ラッチボルトのお手入れ 【用意するもの】 シリコンスプレー・ウエス・手袋

玄関ドアを開けた状態でラッチボルトの状態をみます。
このような状態でラッチボルトが出ていない場合は、ラッチボルト本体の異常です。

原因
ラッチボルトの不具合は、ラッチボルトの隙間に汚れがたまり、動きが悪くなっている場合が多いです。

お手入れ方法

- 玄関ドアを開けた状態でバーハンドルのロックを解除します。
- ラッチボルトの隙間にシリコンスプレーを吹き付け、ウエスでラッチボルトの汚れを取り除きます。



玄関ドアの鍵が掛らない・掛りが悪い時のお手入れ

オーナー様からのお問合せに多いのが「玄関の鍵が掛らない」「鍵の掛りが悪くなった」という内容です。ほとんどのケースで、オーナー様ご自身でお手入れすることで解決するケースが多く、今回は、そのような場合の対処方法をご紹介します。



部位の名称

	【玄関ドア】	【玄関ドア枠】
A 鍵錠		
B ラッチボルト		
C ストライク		

●各メーカーの取扱説明書や使用上の注意書きを必ずお読みください。●調整やお手入れを行う際は、手袋をご使用下さい。

Check 玄関ドアの鍵が掛らなくなった・掛りが悪い時はまず、自己診断を!!

診断 1 玄関ドアを開けた状態で鍵をまわしてみます。
→ A 鍵錠がスムーズに出入りできる。

診断 2 玄関ドアを閉じた状態でサムターンを施錠してみます。

解錠時 施錠時

異常時

[手動の場合] 異常時鍵錠がストライクにかかるとサムターンがこの位置で止ってしまいます。

[ラロック電子錠の場合] カチャカチャという音と共に「正しく施錠できません」という音声案内が流れます。

左ページ調整へ